

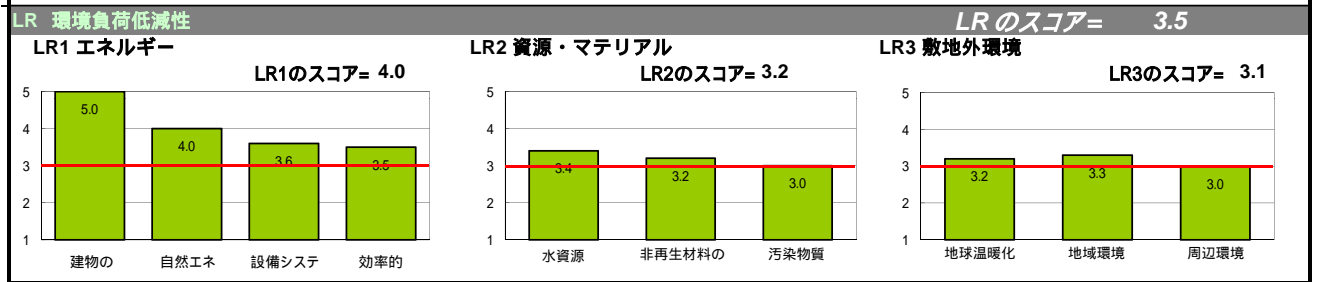
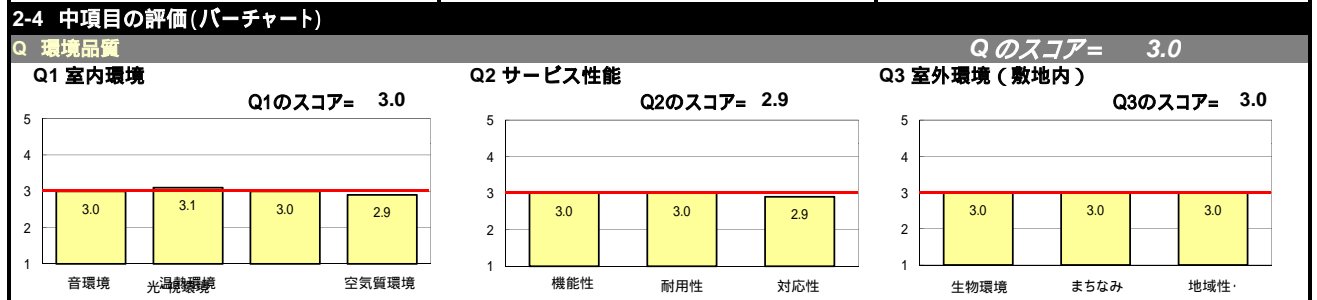
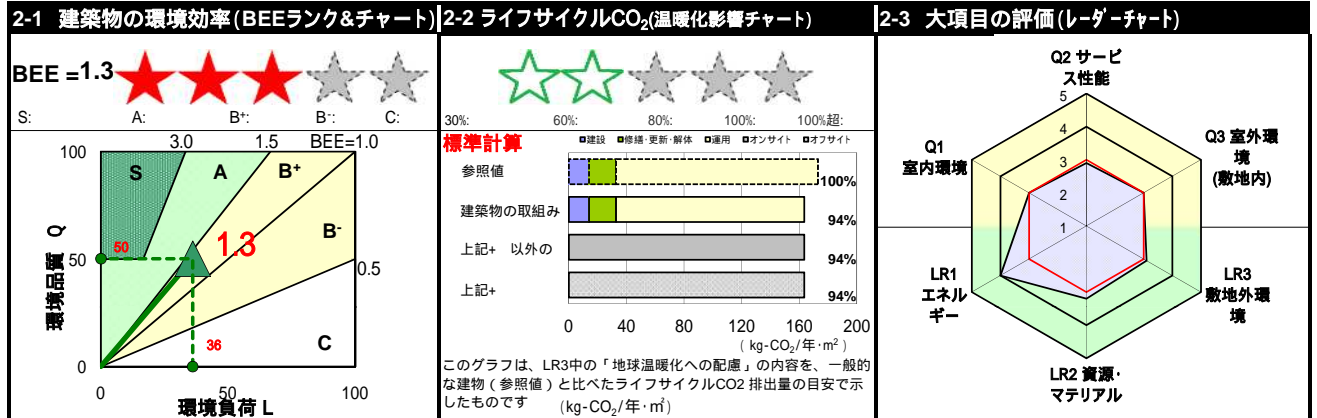
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築[簡易版] 2010年追加版 Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) エクシブ湯河原	階数	地上4F 地下3F
建設地	湯河原町宮上字丸山631-1外19筆	構造	RC造
用途地域	商業地域 準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年2月 予定	評価の実施日	2014年8月8日
敷地面積	29,921 m ²	作成者	(株) 観光企画設計社
建築面積	11,430 m ²	確認日	2014年9月4日
延床面積	44,120 m ²	確認者	(株) 観光企画設計社



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>既存の起伏に富む地形と既存樹木及び景観の再生により地域の歴史性(旧天野屋)を継承した会員制リゾートホテルを計画した。敷地前面を流れる河川もロケーションとして修景上の配慮をした。メインのホテル棟中央部には巨大な水盤を構え、視覚的に穏やかさを演出、また暑熱環境を緩和できるように考えた。棟毎にまたがるが屋上部には緑化を施して、主たる建築設備(空調設備)に伴う排熱は、建築物の高い位置からの放出に努めた。</p>	<p>その他</p> <p>エコを広げるために地球全体で自然を守るようにISO14001に沿った活動を行っている。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>建築基準法に準拠しており、また施主サイドの会員制リゾートホテルの高級グレードマニュアルにもリンクしている。及んでFFE(家具、テキスタイル、什器、備品等)の仕様も生産から環境負荷の少ないものを取り入れるよう配慮している。また、地球温暖化防止のため、夏(6/1~9/30)のオフィスの冷房設定温度を「27」と実践中である。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>廃棄物については「ゴミ分別・リサイクル化」の実施に取り組む。廃棄物の増加抑止のため、オフィスから発生するゴミを「可燃ゴミ」「不燃ゴミ」「プラスチック」「ペットボトル」「スチール缶」「アルミ缶」「ビン」等に分別します(分別BOXを設置)。特に「紙類」は、最終的にリサイクルにまわします。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>多様な植樹を施し景観への配慮に取り組むのは勿論、既存敷地内の既存林は全敷地の約1/3を満たし、可能な範囲で各棟の屋上緑化と、及び壁面緑化も実装する。これら環境を「かけがえのない商品そのもの」と位置付け、美しい健全な環境を次世代に引き継ぐことを社会に対する責任の一つとしています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>未利用エネルギーを有効活用します。河川水による水力発電10Kwを施設内に設置し電力消費削減に努め、さらに温泉熱の給湯利用も行う。また全館LED照明を「-」として省エネルギー、環境に配慮した施設とします。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>地域で利用されている小松石等を積極的に利用します。水栓器具等は自動水栓とすると共に、節水型器具等を積極的に採用します。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>屋上緑化や水盤設置によりヒートアイランド抑制に配慮しています。また、駐車場は地下に配置し、敷地外への環境にも配慮した施設とします。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率) 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される